

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-30820

(43) 公開日 平成7年(1995)1月31日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 N 5/335

識別記号

庁内整理番号

P

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平5-194316

(22) 出願日 平成5年(1993)7月8日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(71) 出願人 000004112

株式会社ニコン

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号

(72) 発明者 真城 康人

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(72) 発明者 後藤 哲朗

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号 株

式会社ニコン内

(74) 代理人 弁理士 船橋 國則

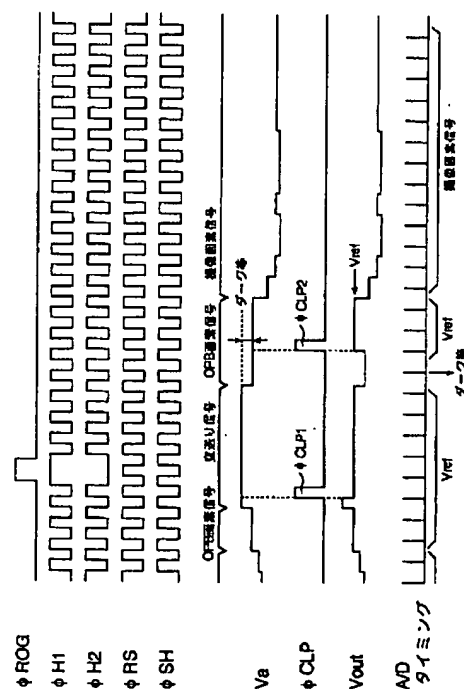
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 固体撮像装置

(57) 【要約】

【目的】 A/Dコンバータに対して悪影響を及ぼすことなく、ダークレベルの検出を可能にした固体撮像装置を提供する。

【構成】 CCD固体撮像素子の信号処理系において、電荷転送部の空送り部の信号及びセンサ部のOPB（オプティカルブラック）部の信号をそれぞれ一画素相当分だけクランプするクランプパルス ϕ_{CLP1} 、 ϕ_{CLP2} を生成するとともに、クランプパルス ϕ_{CLP1} を空送り部の信号のうちの最初の一画素相当分の信号のクランプタイミングに、クランプパルス ϕ_{CLP2} をOPB部の信号のうちの2画素目以降の信号のクランプタイミングにそれぞれ設定する一方、後段のA/DコンバータのA/Dタイミングを空送り部の最初の一画素相当分の信号をクランプしないタイミングに設定する。



本発明の動作説明のためのタイミングチャート